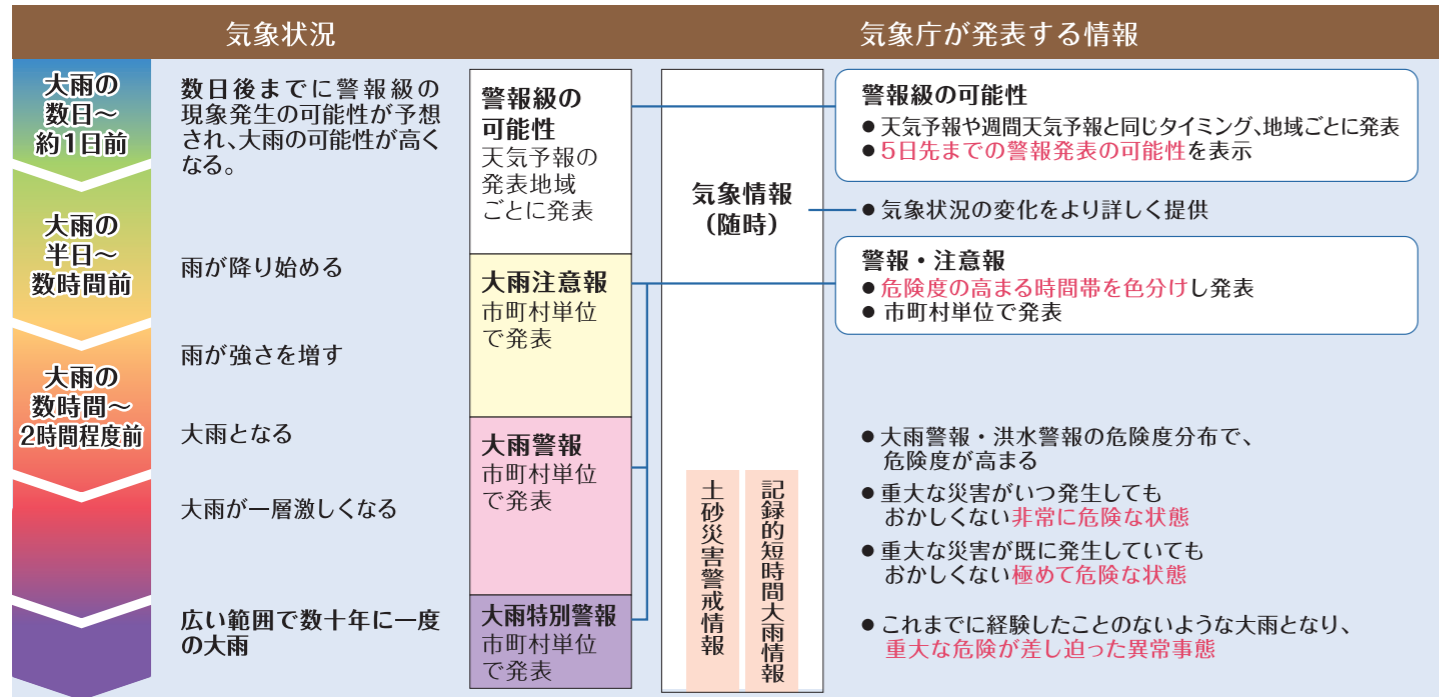


大雨・洪水に関する情報

発表する情報と具体的な活用例 — 大雨の場合



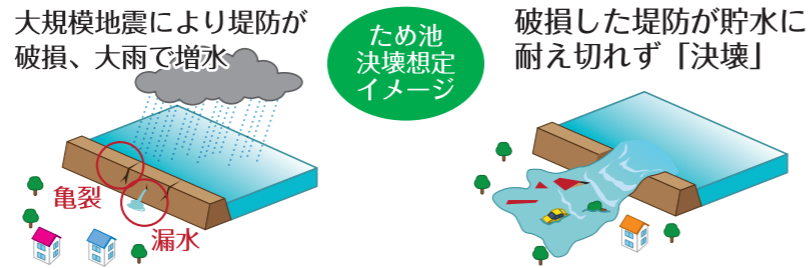
気象庁では気象警報・注意報に関する情報を公開しています ▶ <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

もしも、ため池の堤防が壊れたら

はん濫シミュレーションについて

本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。

地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。



こんなとき、ため池が危ない!!

- 大雨時**
- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
 - 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 - 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

- 地震時**
- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

状況に応じた対応を考えよう!

- 飯能市から発表される避難情報に従いましょう。
- 雨の降り方や周辺の状況から“あぶない”と感じたら、自分から進んで早めに避難をしましょう。

- 揺れが収まったら、高台やため池から離れた場所へ避難しましょう。

避難をする時に注意すること

○ため池決壊以外の災害も意識する

ため池決壊のおそれがある状況では、周辺で右図のような災害も発生している可能性があることに注意して避難しましょう。



○危険な場所は避ける

できるだけ狭い道や塀ぎわ、川や水路の近くなどは避け、安全な広い道を選んで避難しましょう。

○浸水し始めたら無理をしない

歩ける水深の目安はひざくらいまでです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理はしないようにしましょう。

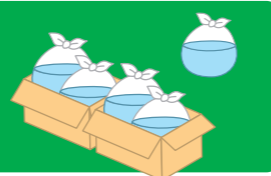
自宅に留まることも選択肢の一つ

浸水の中を避難することはとても危険です。浸水がすでに始まっている場合や、自宅がため池から離れており浸水被害が小さいと予想される場合は自宅に留まり、2階へ避難するというのも選択肢の一つです。

家庭の浸水を軽減する方法

『ゴミ袋による簡易水のう』

40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これを段ボール箱に入れ、連結して使用します。



宮沢ため池ハザードマップ



宮沢ため池堤体の安全性について耐震診断を行った結果、大地震発生後、直ちに貯水機能が損なわれるような堤体の大きな変形は発生しないというデータが示されています。このハザードマップでは、万が一、満水状態、大地震、大雨など最も不利な条件が重なり、堤体が決壊したというケースを想定し、シミュレーションを行い、浸水が想定される最大の範囲を示しています。浸水想定区域と、浸水した時の最大水深を水深ごとに色を変え表示し、また、その地点にどの位の時間で流れが到達するかを示した到達時間を図面上に表わしています。

このハザードマップを通じて、地域の防災力向上や防災意識の醸成の一助になればと考えています。

緊急時の連絡先

行政機関	飯能日高消防署	042-973-9119	その他
	飯能警察署	042-972-0110	
	飯能市役所	042-973-2111	
ライフライン	東京電力パワーグリッド	0120-995-007	
	【電話】会社名:		
	【ガス】会社名:		

※【電話】・【ガス】は契約会社に確認して記入してください。

災害用伝言ダイヤル(171)

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音 **171+1+** 被災地の人の電話番号 (市外局番から) → **録音**

伝言の再生 **171+2+** 被災地の人の電話番号 (市外局番から) → **再生**

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
緊急時の連絡先	
かかりつけの病院	

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話 / 会社・学校の連絡先



宮沢ため池ハザードマップ



1:15,000



【宮沢ため池 諸元】

堤高 19.0m
総貯水量 879,000m³
[25mプール 約1,465杯分]
(*プールは600lで換算)

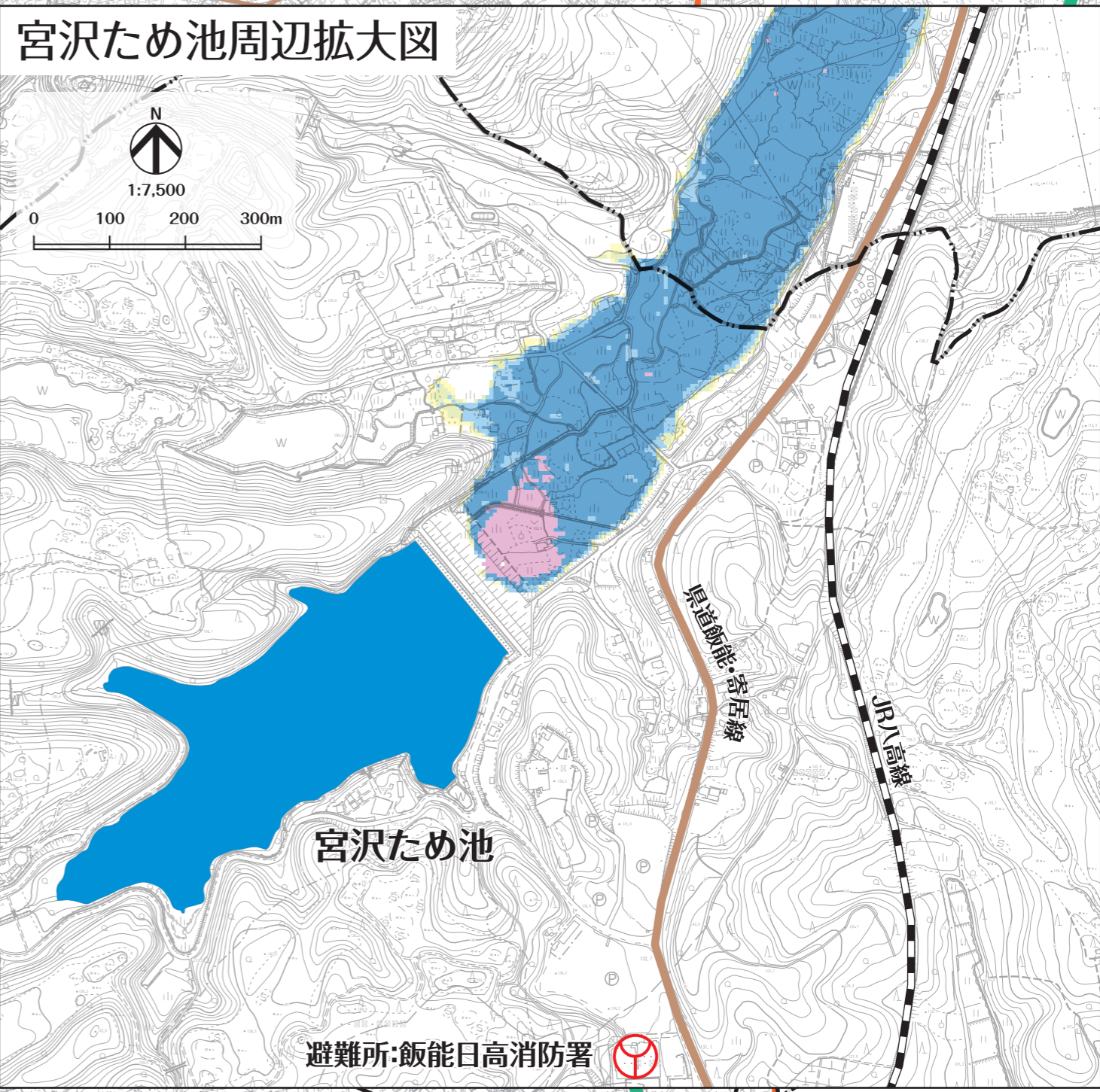
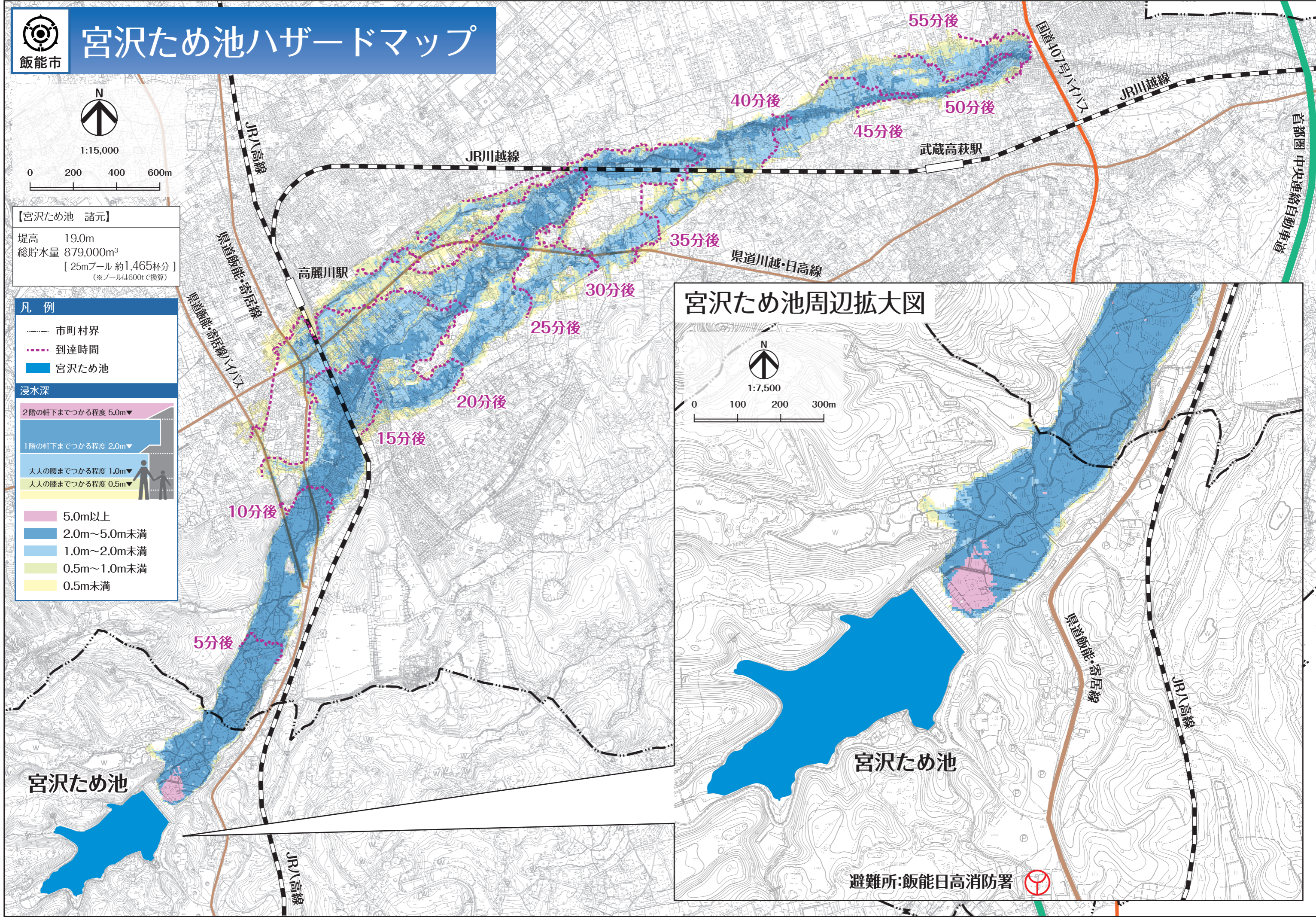
凡例

- 市町村界
- 到達時間
- 宮沢ため池

浸水深



- 5.0m以上
- 2.0m~5.0m未満
- 1.0m~2.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.5m未満



宮沢ため池に係る避難情報

宮沢ため池堤体の安全性については、耐震診断を行った結果、仮に大地震が発生しても直ちに貯水機能が損なわれるような大きな変形は発生しないという診断結果が示されました。また、宮沢ため池は、築造以来一度も堤体が決壊したなどという事象は発生していません。更に、年2回の堤体の点検も行っています。しかし、万が一の場合に備え、日ごろからの防災意識を高め、避難指示等が発令された場合には、この避難情報により『**できる限り速やかに**』避難を行ってください。

【豪雨時】

避難指示等の発令のタイミング	①ため池の水位が設計洪水位(余水吐高)を越えてなお、水位の上昇が確認された場合 ②地域防災計画による発令(詳細については、裏面をご覧ください)
避難先	精明地区行政センターまたは精明小学校のいずれか近い場所 命の危険を感じた場合、自宅周辺の高台に避難して下さい。
避難方法	車両による移動が安全と判断できた場合は、車両で避難して下さい。 車両での避難が危険だと感じた場合は、徒歩により避難して下さい。
避難指示等の伝達方法	防災行政無線による放送を行います。 状況によって、車両による放送を行います。

【地震時】

避難指示等の発令のタイミング	①震度6程度の揺れが発生した場合、もしくはそれ以下でも堤体の決壊・破損を確認した場合 ②地震による被害が発生し、市民の生命、身体に危険を防止する場合
避難先	精明地区行政センターまたは精明小学校のいずれか近い場所に避難して下さい。 揺れが強かった場合や堤体の決壊が確認できる場合は、自宅周辺の高台で、安全に避難できる場所に避難して下さい。
避難方法	車両による移動が安全と判断できた場合は、車両で避難して下さい。 車両での避難が危険だと感じた場合は、徒歩により避難して下さい。
避難指示等の伝達方法	防災行政無線による放送を行います。 状況によって、車両による放送を行います。

■飯能市地域防災計画より抜粋

判 断 基 準	
高 齢 者 等 避 難	<p>①土砂災害警戒情報が発表され、かつ、埼玉県河川砂防防災情報システムの土砂災害危険度における警戒基準（CLライン）（*1）を超過する時刻が「2時間後までに超過」（レベル2）となったとき。</p> <p>②降り始めからの雨量が200mmを超え、さらに時間雨量20mm以上の降雨が予測されるとき。</p>
避 難 指 示	<p>①土砂災害警戒情報が発表され、かつ、埼玉県河川砂防防災情報システムの土砂災害危険度における警戒基準を超過する時刻が「1時間後までに超過」（レベル3）となったとき。</p> <p>②前兆現象（湧水、溪流の水量の変化、斜面崩壊、斜面のはらみ、よう壁・道路等にクラック発生等）が発見されたとき。</p> <p>③大雨警報（土砂災害）が発表中で、さらに記録的短時間大雨情報が発表されたとき。</p> <p>④降り始めからの雨量が250mmを超え、さらに時間雨量30mm以上の降雨が予測されるとき。</p>
緊 急 安 全 確 保	<p>①土砂災害警戒情報が発表され、かつ、埼玉県河川砂防防災情報システムの土砂災害危険度における警戒基準を超過する時刻が「既に超過」（レベル4）となったとき。</p> <p>②前兆現象（山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂等）が発見されたとき、また近隣で土砂災害が発生したとき。</p> <p>③大雨特別警報が発表されたとき。</p> <p>④降り始めからの雨量が300mmを超え、さらに時間雨量30mm以上の降雨が予測されるとき。</p>

(*1) Critical Lineの略。土砂災害に対して警戒すべき領域が赤で示されている。過去の主たる災害事例から最も安全側に設定されており、災害が発生する確率が高くなる目安

『宮沢ため池堤体の安全性について』

宮沢ため池は、農業用水のため池として昭和16年度の完成以来、下流部の農業用水の水源として安定的に農業用水を供給しています。また、地域住民の憩いの場や雨水を一時的に貯留する洪水の調整機能を併せ持つなど、多面的な機能をもつ農業用施設です。

近年の自然災害の発生により、農業用ため池の損壊が発生したことを受け、全国的に農業用ため池の一斉点検を実施いたしました。また、農業用ため池の管理及び保全に関する法律の施行により、宮沢ため池は防災重点ため池に選定されました。

防災重点ため池に選定されたことを受け、宮沢ため池の耐震診断を実施いたしました。診断内容といたしましては、ボーリング調査による試料サンプリングの採取、地盤土質試験、地質解析、堤体の安定解析等を実施し、国の示す安全率をクリアしており、堤体の安全性を確認いたしました。

また、24時間365日リモートで堤体の状況を確認できる監視カメラの設置を行い、離れた場所においても堤体の水位確認や異常時への即時対応が可能となる体制を整備いたしました。

また、堤体や洪水吐における亀裂・段差、陥没・沈下、漏水等をはじめとした点検調査を年2回定期的に行っているところです。

このように、宮沢ため池の安全性につきましては、国の安全基準を上回ったことで安全が確認できたところではありますが、今後につきましても、カメラによる常時監視、定期点検、職員による目視点検などを引き続き行うことで、宮沢ため池の安全性を確保してまいります。